

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや感じたことを表現し、相手に伝えること。 ・話を集中して聞き、応答すること。 ・平仮名や片仮名、漢字を正しく読んだり書いたりすること。 ・絵本などに親しみ、語彙を増やすこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を選び、教師との対話を通して、伝えたい事柄を表現できるようにする。 ・その日の予定を確認する時間を設けるなど集中して聞いたり答えたりすることができる身近な活動を取り入れていく。 ・繰り返し学習する機会を設け、平仮名、片仮名、漢字の定着を図っていく。 ・読み聞かせを行い、いろいろな本に親しませていく。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身近な人々、社会、自然との関わりに関わりを通して気づき、社会性を培うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校探検や、植物の栽培、動物とのふれあいなど具体的な活動や体験を通して、相手との関わりを持ち、自分自身と身の回りのことに関心をもてるようにする。 ・活動を通して気付いたことや楽しかったことや感じたことを言葉や絵、動作など多様な方法で表現することができるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物や半具体物を用いて、数の感覚を豊かにすること。 ・加法及び、減法を用いることができること。 ・具体物を比べる活動を通して、量感覚の素地を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物やブロックなどの半具体物を用いた活動を通して、個数や順番を正しく数えたり表したりする。 ・絵や図などをノートに書く活動を通して、加法・減法ができるようにする。 ・水やテープなどの視覚的教材を使い長さや体積などを比べ、量感覚を養うようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なきまりや活動を理解して、皆と楽しく運動すること。 ・基本的な動きを身に付け、体力を養うこと。 ・自己の健康を保ち・安全に留意して運動をする態度を育てること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士が声をかけあって活動できるよう教師が意図的に関わり、活動を支援する。 ・実態に応じて課題を調整し、体を動かす楽しさを実感できるようにする。 ・事前に活動の流れを確認したり、見る時間を保障したりすることで、安心して活動に参加できるようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを想像すること。 ・これまでの自分を振り返ったり、今後の自分の在り方について考えたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を精選し、視覚的な教具を活用する。 ・○×や表情などを選択することで自分の考えを示すことができるようにワークシートを活用する。 ・発表の機会を設け、友達の発言を共有できるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽に関わり、音楽活動をする楽しさを味わうことができるようにすること。 ・歌唱や演奏の基本的な技能を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤と指に色シールをはり、押さえる箇所を分かりやすくすることで演奏の手助けをしていく。 ・教師と一緒に歌うことで、大きな声を出せるように支援する。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・手や体全体の感覚や技能などを働かせ造形活動を楽しむこと。 ・材料や用具を適切に用いていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成のイメージをもたせ、製作の行程を図などで示すことにより見通しをもって造形活動が行えるようにする。 ・安全に配慮し、実態に合わせて用具の使用場面を精選していく。
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学級において多様な経験を積むことにより、自己肯定感を高め、基礎的な生活習慣を身に付けていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学級において日直や係、当番活動に取り組むことで、クラスでの自己の役割を認識し、自信に繋げていく。



	成果○ と 課題▼
国語	<p>○一日の予定を確認する時間を設けることで、集中して話を聞き、一日の流れに沿って自分の身近なことについての質問に答えることができるようになった。</p> <p>○読み聞かせを行うことで、読書への関心を培うことができた。</p> <p>▼教科書の説明文や物語文は内容をかみ砕いたが理解が難しいこともあった。教科書を教材として扱う際には、個の実態に応じてさらに細かく目標を設定していく。</p>
算数	<p>○児童が楽しく取り組めるように、紙芝居やトランプゲーム、歌などを取り入れた。学習が楽しいという土壌をつくり、その上で数の学習に入ったので興味・関心をもって算数の学習をすることができた。</p> <p>▼入学当初から数概念が形成されている児童について、グループを分けて学習させるタイミングが遅かった。教科の特性から実態を把握し早くからグループを分けて指導する。</p>
生活	<p>○教員がサポートすることによって、意欲をもって活動に参加し、交流級のなかで友達と一緒に行動でき、いろいろな体験を積み重ねることができた。</p> <p>▼いろいろな活動に楽しみながら意欲的に取り組めた反面、振り返りの場面で自分の想いを表現することが難しかった。振り返りの時に想いを表現しやすいように○×や顔マークを使えるよう提示などをしていく。</p>
体育	<p>○教員がサポートすることによって、楽しみながら意欲を持って活動に参加し、交流級のなかで友達と一緒に様々な運動を行うことができた。</p> <p>○「ボール蹴り」「ボール投げ」では、周りを見て動きを模倣する力を培ったり同じグループの友達とコミュニケーションをしたりすることができた。</p> <p>▼「ボール投げ・ボール蹴り」運動では、ルールが理解が難しい児童がいた。また、体を動かすことで興奮したり、指示を受けたりして動くことが難しかった。事前にビデオや視覚的教材により、ルールの確認をして指導する必要がある。</p>
道徳	<p>○NHK for school (で〜きた) の動画など視覚的な教材を活用したり、○×の札を用意したりすることにより自身の考えを表現することができた。</p> <p>▼規則の尊重や思いやりについての学習を多く行い、よく理解できた道徳的価値があったが、自身の生活を振り返り、行動に反映していくことは難しかった。登場人物の気持ちに寄り添うため、役割演技などをして身体で体験させる必要がある。</p>
音楽	<p>○鍵盤に色シールを貼り楽譜と対照させることにより、演奏できるようになった児童がいた。また演奏する際に出す音を絞る事で無理なく合奏に参加することができた。</p> <p>○有名な童謡や、音楽に合わせて体を動かす活動、リズム打ちは楽しみながら参加できる児童が多かった。</p> <p>▼発語がまだ十分ではない児童については、興味、関心をもって聞いてはいるが、現段階では歌唱することが難しい。何度もCDを聞いて、簡単なフレーズに絞って繰り返し練習する必要がある。</p>
図工	<p>○完成形のイメージをもたせ、どのようなものを作りたいかを選択肢を示しながら提示することで、楽しみながら造形表現活動をすることができた。</p> <p>▼こだわりが強く、集中して作品をつくるのが難しい場面があった。作品づくりのなかで児童が作業する部分を精選する必要がある。</p>
学級経営	<p>○日直や当番活動に積極的に取り組めるようになった。自分の役割を果たし学級の一員として学校生活を送れるようになった。</p> <p>▼児童によっては実態に応じて参加できる場面を精選しながら、少しずつ参加できる時間を伸ばしていくようにする。</p>